

令和3年度版

# 動物通信

きょう けん びょう

## 狂犬病

～狂犬病から人と動物を守るために～



はじめに	1
1 狂犬病とは	2
2 ある国とない国	7
3 わたしたちがすべきこと	11
おわりに	14

令和3年12月  
杉並区



## はじめに

きょうけんびょう かんせんしょう  
狂犬病という感染症を聞いたことがあるでしょうか？

犬を飼っていない人には馴染みのない病気かもしれません。

狂犬病は、人と動物の間でうつる「人畜共通感染症」の中でもっとも恐ろしい病気の一つです。

今では信じられないかもしれませんが、日本国内でも多くの人や犬がこの感染症により命を落としていた時代がありました。

日本国内でまん延<sup>えん</sup>してしまった狂犬病を、どのように撲滅<sup>ぼくめつ</sup>したのでしょうか？また、撲滅以後数十年、国内での狂犬病の発生はありませんが、これはただ運がよかったからなのでしょう？

今回は狂犬病という感染症について少しだけ詳しくお話したいと思います。読み終わるころには狂犬病に関するさまざまな「なぜ？」が分かるかもしれません。

## 1 狂犬病とは

犬を飼っている人なら知っている、狂犬病という病気。

狂犬病は、犬を飼っていない人にも知っておいてほしい病気です。

犬の飼い主は年に1回、飼い犬に狂犬病の予防接種<sup>よぼうせつしゅ</sup>を受けさせる義務があります。

狂犬病という病気は、狂犬病ウイルスに感染することで起こり、全ての哺乳類<sup>ほにゅうるい</sup>が感染する可能性があります。

狂犬病ウイルスに感染した動物にかまれた傷口から狂犬病ウイルスが入り込み、人の筋肉の中などで増えていきます。また、体に傷<sup>きず</sup>があったときに、狂犬病に感染した動物の唾液<sup>だえき</sup>がついてしまっても感染します。そして、筋肉などで増殖<sup>ぞうしょく</sup>した狂犬病ウイルスは、神経<sup>さいぼう</sup>の細胞<sup>のう</sup>を通して脳まで移行するのです。

一般的<sup>いっぱんてき</sup>には、ウイルスが体内で増えて、症状<sup>しょうじょう</sup>が出るまでは1ヵ月から3ヵ月とされています（これは潜伏期間<sup>せんぷくきかん</sup>と言います）。

ただし、短い場合は数日、長い場合は数年という場合もあります。

## ◇人間が狂犬病にかかったらどうなるの？

最初は、風邪をひいた時などと同じで、発熱・頭痛・筋肉痛・悪寒の症状が出ます。たいていの場合、数日から1週間程度、すぐに狂犬病とはわからない症状が続きます。その後、狂犬病としての特徴的な症状が起こります。

- ・ 強い不安感・高熱
- ・ 意識障害（物事を正しく理解することや、周囲の刺激に対する適切な反応が損われている状態）
- ・ 錯乱（感情や思考が混乱すること）
- ・ 幻覚（実際には存在しないものが、聞こえたり見えたりと、実際に存在するかのように感じる）
- ・ 恐水症（水を飲むことを恐がり首の筋肉がけいれんする、水が恐くて手が洗えなかったりするなど）
- ・ 恐風症（空調の風などを嫌がったり、けいれんする）
- ・ 大量のよだれ、食べ物や水分を飲み込むことができない

やがて、全身の麻痺やけいれん、不整脈などが起き、全身の臓器に障害が起こり、その後、呼吸できなくなり最後には死んでしまいます。狂犬病は発病したらほぼ100%死に至る恐ろしい病気です。

世界保健機関（WHO）は、年間約5万5千人もの人が狂犬病で亡くなっていると発表しています。このうち、3万人以上はアジア地域とされています。



1. 狂犬病の犬にかまれる



2. 風邪症状で寝込む<sup>ねこむ</sup>



3. 水を恐がる・大量のよだれが出る  
など錯乱状態



4. ほぼ 100%の確率で亡くなる。



## ◇<sup>きょうけんびょう</sup>狂犬病にかかっている犬はどのような症状なの？

<sup>きょうぞうがた</sup>狂騒型と<sup>まひがた</sup>麻痺型と言われるタイプがあります。

<sup>きょうぞうがた</sup>狂騒型は、<sup>きょくど</sup>極度に<sup>こうふん</sup>興奮し<sup>こうげきてき</sup>攻撃的な行動を示します。

<sup>まひがた</sup>麻痺型は、体の後ろ（尾の方）から頭の方に<sup>まひ</sup>麻痺が進んで、食べ物や水が飲み込めなくなります。

## ◇犬からしか移らないの？

狂「犬」病と書きますが、犬だけに限った話ではありません。

**アジア・アフリカ**：犬、猫

**アメリカ・ヨーロッパ**：キツネ、アライグマ、スカンク、  
コウモリ、犬、猫

**中南米**：犬、コウモリ、猫、マンガース

このように、<sup>ちいき</sup>地域によっても原因となる動物が違います。アジアやアフリカなどの<sup>かいはつとじょうこく</sup>開発途上国で多い病気ですが、<sup>かんせん</sup>開発途上国での狂犬病の90%は、犬にかまれることによって起こる感染です。

一方、南米ではコウモリが原因となることが多いです。また、北米やヨーロッパではキツネ・アライグマ・スカンクなどの狂犬病が問題になっています。

ちなみに、狂犬病が人から人へ感染することはありません。

## 2 ある国とない国

日本では長い間<sup>きょうけんびょう</sup>狂犬病の発生がありません。狂犬病の<sup>せいじょうこく</sup>清浄国(特定の<sup>でんせんびょう</sup>伝染病が発生していない、またはワクチン<sup>せつしゅ</sup>接種によって伝染病が<sup>ぼくめつ</sup>撲滅された国や<sup>ちいき</sup>地域の<sup>こと</sup>こと)とされています。狂犬病<sup>かんせん</sup>感染の<sup>きけん</sup>危険のない<sup>たいさく</sup>安全な国であるために対策することは、とても重要なことです。

### ◇世界の狂犬病

狂犬病は世界中のあらゆる地域で発生していますが、日本をはじめオーストラリア、アイスランド、ニュージーランド、ハワイ、グアム、フィジー<sup>しょとう</sup>諸島は、狂犬病ウイルスがない狂犬病清浄国・地域であると農林水産省で指定されました。

<sup>たいわん</sup>台湾は以前まで清浄国でしたが、2013年に狂犬病に感染したイタチアナグマが見つかり、清浄国ではなくなっています。

### ◇<sup>とし</sup>都市型<sup>たりゅうこう</sup>流行と<sup>やせい</sup>野生動物型<sup>たりゅうこう</sup>流行

人の感染の99%は、東南アジアやアフリカ、中南米で犬から感染しています。都市型<sup>よ</sup>流行と呼ばれています。

ヨーロッパや北米での人の感染は少ないのですが、ヨーロッパではアカギツネなどの野生動物から、北米ではアライグマからが55%、次にスカンク、コウモリ、キツネの順で感染しています。これらは野生動物型流行と呼ばれています。





## ◇ 狂犬病の侵入防止（水際対策）

### ・ 検疫（けんえき）

動物検疫所は海外から狂犬病が侵入しないように犬、猫、アラ  
イグマ、キツネ、スカンクの輸出入を検疫しています。

狂犬病の清浄指定国以外からの犬・猫の入国では、

① マイクロチップの装着

② 適切な狂犬病予防注射

③ 予防注射の効果を血液の抗体量で判定

④ 180日間の係留（待機）

などが必要です。

清浄国からの入国などでは、場合により条件が緩和されます。

### ・ もう一つの水際対策

日本に寄港する外国船に乗って、検疫せず不法に上陸する犬の  
監視・対策がなされています。

（近年では、ロシア船の寄港が多い北海道で問題となっています。）

## ・感染予防

以前、フィリピンで犬にかまれた人が日本に来ました。その人は狂犬病にかかっている、日本で発症してしまいました。フィリピンなどの東南アジアは都市型の流行地です。狂犬病の流行地に行く場合は狂犬病予防接種を受け、万が一、犬にかまれても発症しないよう準備することが必要です。

## ◇狂犬病のまん延防止

### ・日本の狂犬病の歴史

1950年、狂犬病予防法が制定されました。日本はそれ以前から狂犬病が発生していました。

1957年、猫で狂犬病が発見されたのを最後に、日本では狂犬病の発生はなくなり、日本の狂犬病は撲滅されました。

### ・狂犬病予防法

狂犬病予防法は、狂犬病の発生とまん延の防止を目的に施行されました。この法律が施行され、7年という短い期間に日本の狂犬病は撲滅されました。

しかし、世界では未だに狂犬病が発生しています。万が一、狂犬病が日本に侵入してきた際、感染をさせず、流行を阻止し、まん延を防止する必要があります。そのため、狂犬病予防法により、飼い犬の登録や、年に1回狂犬病予防接種を受けさせることなどが義務付けられています。

### 3 わたしたちがすべきこと

#### ◇飼い犬の登録をしていますか？

犬を飼い始めたらまず登録をしましょう！

飼い犬を登録する目的は、犬の飼い主をハッキリさせることです。登録することで、どこで犬が飼われているかを把握することができ万が一、狂犬病が発生した場合にも、その地域において素早く対応することができます。犬を飼い始めた日から30日以内に、犬と飼い主の住んでいる区市町村で登録の申請をし、「犬鑑札」を受け取ります。（生まれてから90日以内の犬の場合は、90日を経過した日から30日以内に申請してください。）「犬鑑札」は、犬の首輪などに着けておくことが義務付けられています。

※「動物の愛護及び管理に関する法律」が改正され、令和4年6月から、犬や猫を販売する事業者についてはマイクロチップ装着が義務付けられます。また、犬に装着されたマイクロチップは「犬鑑札」とみなされます。そのため、令和4年6月1日からは飼い犬の登録手続きが一部変更となる予定です。



## ◇狂犬病の予防注射を接種していますか？

狂犬病は、<sup>かんせん</sup>感染して、<sup>はっしょう</sup>発症してしまうと<sup>ちりょう</sup>治療することができません。しかしながら、狂犬病は<sup>よぼうちゅうしゃ</sup>予防注射することで感染は防げなくても、発症を予防することはできます。

飼い犬に予防注射を受けさせることで、犬を狂犬病から守ることはもちろん、飼い主自身や家族、近所の人たちや他の動物への感染を防ぐことができます。生後91日以上の子にはなるべく早く予防注射を受けさせ、その後は1年に1回（予防注射接種時期は4～6月）予防注射を打ちましょう。

狂犬病予防注射はお住まいの区市町村が行う集合注射、または動物病院で接種することができ、注射後の手続きはお住まいの区市町村で行っています。手続きをすると「<sup>ちゅうしゃずみひょう</sup>注射済票」が交付されます。

「注射済票」は、狂犬病予防注射を受けた犬であることを証明するための標識ですので、犬の首輪などに着けておかなければなりません。

## ◇集合注射を知っていますか？

杉並区の狂犬病予防注射は、杉並区<sup>じゅういしかいしよぞく</sup>獣医師会所属の協力動物病院を会場として<sup>じっし</sup>実施しています。期間中は集合注射会場の動物病院で、注射済票の交付や登録手続きがその場で受けられます。

**【期間】** 例年4月1日～6月30日（令和3年12月現在）

**【会場】** 杉並区獣医師会所属の協力動物病院

（病院により実施時間<sup>こと</sup>が異なりますので直接<sup>かくにん</sup>ご確認ください。）

\* 狂犬病予防注射は上記期間外、および獣医師会の協力動物病院以外でも接種可能ですが、その場合注射料金が異なることがあります。



## ◇犬が人をかんでしまったら？

まず、<sup>おうきゅうしよち</sup>応急処置や<sup>いりょうきかん</sup>医療機関の手配など、<sup>ひがい</sup>被害にあった方に<sup>せいい</sup>誠意ある対応を行いましょ。また、東京都の<sup>じょうれい</sup>条例により、事故発生から**24**時間以内に<sup>とどけで</sup>届出を行う義務があります。すぐ保健所に連絡してください。更に、事故発生から**48**時間以内に人をかんでしまった犬が<sup>きょうけんびょう</sup>狂犬病にかかっていないか<sup>じゅうい</sup>獣医さんに<sup>しんさつ</sup>診察してもらう必要があります。狂犬病は<sup>おそ</sup>恐ろしい病気ですが、現在発生のない国内での事故では、犬の<sup>けんしん</sup>検診をすれば心配はありません。

飼い主がわかっている場合は、飼い主の責任で、犬を獣医さんに検診してもらいます。飼い主がわからない場合は、<sup>どうぶつあいご</sup>動物愛護<sup>そうだん</sup>相談センターに通報してください。動物愛護相談センターが犬を<sup>しゅうよう</sup>收容し、狂犬病の検診を行います。

## おわりに

狂犬病が国内に<sup>しんにゅう</sup>侵入した場合、まん延させないためには、狂犬病ワクチンの<sup>せつしゅりつ</sup>接種率が70%必要と言われています。しかし、残念ながら接種率は近年<sup>けいこう</sup>低下傾向にあります。厚生労働省の発表では、東京都内の自治体に登録されている犬の、平成30年度狂犬病予防注射接種率は73.6%でしたが、令和元年度は73.0%に減少しています。飼い主が自治体に登録の申請をしていない犬もいるため、実際の接種率はもっと下がります。現状の接種率で<sup>げんじょう</sup>は感染拡大を防ぐことができない可能性もあるのです。この恐ろしい感染症を日本で二度と発生させないためには、飼い主が責任をもって予防接種を受けさせることが重要です。ワクチンは、家族の一員である犬を狂犬病から守るだけでなく、日本を感染症から守る大事な予防線でもあるのです。



## あとがき

日本が世界でも珍しい狂犬病清浄国であり続けているのは、先人たちが愛犬に予防接種を受けさせてきた、努力の賜物です。

先人たちの努力を無駄にしないためにも、愛犬には予防接種を受けさせましょう。

編集

## 公益社団法人 東京都獣医師会杉並支部

ホームページ

(URL) <http://www.s-vet.com>

(イラスト協力)

女子美術大学芸術学部

アート・デザイン表現学科

ヒーリング表現領域 杉倉由葵

## 獣医師会会員 動物病院案内 (町名順)

川口動物病院	阿佐谷北 2-9-9	3339-4343
阿佐谷ペットクリニック	阿佐谷北 4-1-2	3330-3020
グリム動物病院	阿佐谷南 3-5-1	3393-2624
ちやふるペットクリニック	天沼 3-23-34	6240-6377
たかぎ動物病院	井草 1-35-4	5382-1233
いぐさ動物病院	井草 1-31-16	3397-7115
ひがしやま動物病院	和泉 2-33-22	3322-8338
さくら動物病院	今川 4-20-11-1F	3301-7800
ハナ動物病院	梅里 2-28-4 梅里MSビル1階	5913-8241
パル動物病院	永福 3-51-13	5376-5344
永福あにまるクリニック	永福 4-22-6-1B	5329-1255
天野動物病院	大宮 1-2-3	3325-6798
ガラス動物病院	荻窪 5-4-9	3220-2717
米川動物病院	荻窪 3-12-5	3398-1141
K's どうぶつ病院	上井草 3-1-19	3395-1947
荻窪ツイン動物病院	上荻 1-23-18	3220-1122
もりぞう動物病院	上荻 2-21-25-1F	6915-0035
エルムス動物医療センター	上高井戸 1-14-4	3304-4090
ダクタリ動物病院 久我山	久我山 3-7-27	3334-3536
久我山動物病院	久我山 5-33-20	3331-0960
オハナ動物病院	高円寺北 3-23-6	5364-0203
高円寺アニマルクリニック	高円寺南 2-14-14	3311-1014
小金井動物病院	下井草 3-32-10	3390-8794
広瀬獣医科病院	下井草 2-4-10	3394-0116
鈴木動物クリニック	善福寺 2-30-5	5382-8707
浜田山がじわら動物病院	高井戸東 3-1-25	3290-1239
しんどうぶつびょういん	高井戸東 4-9-1	5336-3721
ミ・サ・キ・動物病院	高井戸東 2-25-8	5370-1013
成田犬猫病院	成田東 3-2-3	3315-5300
小張獣医科病院	西荻北 2-13-3	3390-6025
ブルーミントン動物病院	西荻南 2-22-11	5941-9711
マスナガ動物病院	浜田山 4-11-12	5378-1014
東京動物医療センター	松庵 2-19-15	3331-3381
塩田動物病院	南荻窪 1-21-2 都コーポ	3332-2310
なかむらペットクリニック	南荻窪 4-22-6-1F	5370-6070
みやまえ動物病院	宮前 3-9-1	5344-1677
エルム動物病院	桃井 1-26-20	3396-1207
D&C Physical Therapy	和田 3-60-10	3311-8888
安達動物病院	和田 3-60-11	3311-5678

## 動物通信 狂犬病 ～狂犬病から人と動物を守るために～

令和3年度版  
令和3年12月発行

発行・監修

杉並区杉並保健所生活衛生課

〒167-0051 杉並区荻窪5-20-1 電話 03(3391)1991

☆杉並区のホームページでご覧になれます

<https://www.city.suginami.tokyo.jp>

登録印刷物番号

03-0066



R40

古紙配合率40%再生紙